

■■■ 相互理解講座「世界の子育て～ベトナムから日本に来て～」を開催しました ■■■

ふたば国際プラザでは2020年1月18日(土)に相互理解講座「世界の子育て～ベトナムから日本に来て～」を開催し、外国にルーツを持つ子どもの指導をしている方など、30人の方に参加いただきました。

ゲストには、ベトナムで生まれ育ち、神戸で子育てをしているズオン・ゴック・ディエップさん（ベトナム夢KOBÉ共同代表）とグエン・ティ・ハイ・イエンさん（KFCスタッフ）を迎えました。講座のはじめには、南北に長いベトナムの地理や地域での違いをクイズ形式で確認しました。その後、ゲストのお二人からは、ベトナムと日本での子育ての違いや、ベトナムの常識、日本での子育ての驚きなどをうかがいました。

休憩時間には、参加者の皆さんにベトナムコーヒーとベトナムの代表的なお菓子であるBánh đậu xanh（緑豆のお菓子）を提供し、それを食べながらゲストの方に聞きたいことを質問票に書いていただきました。講座の後半では質問票をもとに、さらに詳しいお話をうかがいました。

講座を通して、お二人の子育てにおけるこだわりを聞くことができました。例えば、ベトナムの先生は日本の先生よりも厳しいということが話題になりましたが、現在のベトナムにおいても子どもを叱るときに体罰をすることは慎まれるようになってきているという話がありました。どのような子育てをするのが良いのかは地域だけでなく、時代によっても変わるため、自分が受けてきた子育てをそのまま子どもにすることができず、インターネットで調べたり、知り合いに聞いたりしているそうです。また、子どもの個性によっても、しつけの方法は変えているとのことでした。

ルーツの言葉であるベトナム語に関しては、特に日本で生まれた子どもの場合は、家族と話したり、母語教室を利用して文字を覚えたりすることの重要性が感じられました。少しでも学んでおけば、親戚の訪問などでベトナムに滞在した際に、知り合いと話せたり、現地の文字が読めたりと、自分が使うことができたという経験することができ、ベトナム語学習へのモチベーションが上がるとの話がありました。

日本で生まれ育った人も一人ひとり違うように、ベトナムから来た方々も一人ひとり違います。今回は2人のゲストのお話を聞きましたが、皆さんの周りのベトナムの方はどうなのか？ぜひ話を聞いてみていただければと思います。そして、文化や習慣を越えて子どもが生活しやすい社会を作るヒントを考えてみてください。（林 貴哉）

---

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆ポスター発表

1月25日（土）ポスター発表でウバンニンさんはKFC学習者の一員として自分の学習方法を発表してくれました。その原稿を下記に載せます。

皆さんこんにちは。これから私の日本語学習について発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

私はニンと申します。ベトナムから来ました。自分のスキルアップのため、去年の5月に日本の会社で働くために日本へきました。日本へ来る前にベトナムで1年半位日本語を勉強していました。ベトナムでは最初に会社の日本語トレーニングコースに参加しましたがあとはほとんど独学

でした。日本に来て会社生活では日本語のコミュニケーションは時々ありますが仕事の話だけです、もっとコミュニケーションをとりたくて日本語学校に行くこと決めました。昼間は仕事ですので夜学校へ参加しました。それはKFCセンターです。最初は自分の日本語はまだ下手ですから他の高いレベルの方と一緒に勉強するのは大丈夫かなと心配していたんですが、学校の勉強式はマンツーマンですのでほんとによかったです。マンツーマンですから自分のレベルと自分の勉強方法に自由に合わせていけますし、そして会話の機会も増えます。例えば私は普段とちょっとちがいますが映画とか新聞などで日本語を勉強するのが好きです。それで映画を見る時何か知らないところがあればノートしてクラスで先生に聞いたり、先生も短く面白い新聞を準備してくれて難しい漢字は読めるように頭にはひらがなをつけておいてくれて、私は新聞を読んで先生と内容を理解します。伝統的な学習方法と違い新聞とか映画は面白いですから勉強意欲がなくなるのでいつも学校へ行きたいと思います。そして、日本語を勉強するだけではなく、学校には日本の文化とか料理の作り方も先生たちが教えてくれて嬉しいです。私の今年の目標は日本語の映画を字幕なしで理解できるように頑張っていきます。以上です、ご清聴ありがとうございます。

---

### ■■■KFC外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

#### ◆プレスクール実施～さすが！子どもの吸収力～

就学前の子どものプレスクールは、1月～3月の土曜日に10回行っています。

今年度は、男の子4人、女の子2人の計6人が参加しています。ルーツは、中国、ミャンマー、ベトナム、カナダ、メキシコ、フィリピンと様々です。

10時15分くらいから、お父さんやお母さんに連れられて、一人、二人とやってきます。「おはようございます」と言うと、恥ずかし気な「おはようございます」が返ってきます。それでも、プレスクールの中頃になると、友達やスクールの様子にずいぶん慣れて落ち着いてきます。

4月から日本の小学校に入学する子ども達が戸惑うことが少ないように、小学校で使うのと同じ机や椅子を用意し、あいさつや返事など、学校の教室でのパターンと同じように進めます。子どもたちの後ろで様子を見られている保護者の方々にも、学校の様子が少し分かってもらえるのではないかと思います。

学習の内容は、語彙を増やすこと、発音の練習、ひらがなの練習、数のしくみの学習などです。

1時間半の学習ですが、まずは、学校でするように、立って、気を付けの姿勢をし、大きな声で朝のあいさつをしてから始まります。

カードを使って、いろいろな物の名前を聞きます。「うさぎ」「ぞう」「みかん」「いちご」などは、みんなよく知っていて、いっせいにおおきな声で答えてくれますが、「さい」「ごぼう」「たけのこ」などの絵を出すと、ハテナの顔で無言。しかし、次の回で聞いてみるとちゃんと覚えています。子どもたちの吸収力は流石です。語彙がどんどん増えていきます。

あいうえお表にそって発音の練習をしますが、は行が難しそうです。でも、毎回繰り返すうちに自然な発音が出来てきます。ひらがなも練習を続ける間に、しっかりした筆圧で上手に書けるようになっていきます。1年生で習う時には、きつといい字が書けると思います。

途中で、「絵本タイム」を設けていますが、子ども達は、集中して聞いて楽しい反応を返してくれます。絵の中の細かいところにまで気づいて、いろいろ話してくれます。この時間の中でも、語彙が増えていっています。

1時間半は長いようでも、子どもたちは楽しそうについてきてくれます。自分の名前も上手に書けるようになりました。毎回の宿題も、必ずきちんと仕上げてくるので感心します。椅子に座っ

て、机で学習することに慣れてきた様子を見ると、4月からの学校での生活も落ち着いて出来そうです。

それでも、やはり、「さようなら」をした後、ホッとした様子でおうちの人に甘えに行く様子を見れば、この1時間半をそれぞれに頑張っていたことがよく分かります。子ども達のプレスクールでの頑張りは、4月からの小学校生活にきっと役立つことでしょう。（賀来 秀子）

---

### ■■■ ハナの会 ■■■

#### ◆自立心旺盛パワフル利用者さんバンザイ！！

現在ハナの会には100歳を超える利用者さんが2名おられます。今回はその中の1人H様を紹介します。

H様は今年の夏が来ると、101歳になられ、ハナの会デイサービス設立当初から来所されている方です。週に3回デイを利用されます、とても優しく穏やかな方で、ハナの会では皆の大きなお母さんの存在です。デイでの体操も休むことなく積極的に参加され、誰よりも身体を動かす努力をされています、今でも前屈で床にしっかり手をつく程身体がとても柔らかいです、スタッフの方がカチコチでお手上げです。いつも色々な方と笑顔で楽しくお話しされたり、本人は「もうあかんわ」「迷惑かけてごめんな」「いつもありがとうな」と言っはいますが、力のある動き行動をを見ていると、私達の方がH様からパワーをもらっています。

人に迷惑をかけたくない、気持ちから自分でできることは頑張ろうとするH様と過ごせることを嬉しく思います。（鮑 少君）

---

### ■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

#### ◆KFC新長田帰国者交流会で春節会を実施しました

KFC新長田帰国者交流会では1月28日に、春節会を開催しました。朝早くからふたば学舎の調理室に集まり、有志の帰国者が中心となって豪勢な中華料理を作りました。食事の際には、中国のバラエティ番組ビデオや音楽BGMのもと、思いおもいに話に花を咲かせました。当日は寒さの中、帰国者49名(1世18名、2世とその家族31名)、スタッフ一同含めて大人数となり、共に楽しい時間を過ごしました。

高齢化に伴い、交流会に足を運ぶのが徐々に難しくなっている方もいらっしゃいます。交流会では太極拳や広場踊りに加えて健康体操などの身体作りや健康相談など、参加者に有用なプログラムを積極的にやっていきたいと思えます。またKFCの介護部門の知見も借りながら、必要なサポートができるよう取り組んで参ります。

#### <料理を担当した安さんのコメント>

私は昔中国で長年コックとして働いていました。田舎に住んでいたため、麻婆豆腐や水餃子など伝統の中華料理はもちろん、郷土料理も得意です。中国の田舎の村は結婚式の時に村人みんなを招待するので、100人以上の料理も作ったことがあります。大変でしたが、若かったのであまり苦にならなかったのです。今でも家族に料理を振る舞うのが好きです。

新長田帰国者交流会の料理担当になり、春節祭というめでたい日にふさわしい料理を考案しました。高齢者の私たち帰国者のことも配慮し、野菜のメニューを多めにし、水餃子をメインで肉と野菜のバランスを考え4種類の料理を献立にしました。

中国の伝統的な水餃子は皮から作り、餡は豚肉、白菜、ネギとショウガを小さく刻み、こしが出

るまで練ります。水餃子は皮が命で、劉桂麗さんなどの女性陣は小麦粉から作っていました。みんなはとてもきばきして大いに助かりました。水餃子のほかに、前菜と揚げ物各2種類を作りました。前菜は和え物2種類を作りました。一つは八宝ほうれん草（ほうれん草とナッツの和え物）、もう一つは春雨、干し豆腐、キュウリともやしの和え物で、全部自信作でした。

大人数の料理はとても大変ですが、みんなは頬張りながら、美味しいと言ってきて、とても嬉しかったです。次回は冷たい料理より麻婆豆腐や酢豚など暖かい料理を増やすつもりです。そして、いつもみんなのため料理教室を手伝って頂く方々にも感謝します。特にボランティアリーダーだった村井さんは長い間料理の担当でしたので大変だったと思います。

---

### ■■■ 今後の予定 ■■■

◆ 今後の予定  
■ 就学前の子どものプレスクール事業  
2020年1月11日～3月28日(土) 10:30-12:00  
2月15日、3月14日を除く 毎週土曜日